

## リニアに乗ってみると…試乗体験記(2018・3/14)

山梨県在住の方2名が、リニア実験線に試乗した体験記を書いてくださいました。以下に載せますが、どうも人が乗る交通機関としてはふさわしくないもののようにです。こんなものに40分も乗って東京～名古屋間を往き来する人がいるのだろうか、しかも「高い料金を払って！」と思われるような内容です。ともかくお読みください。

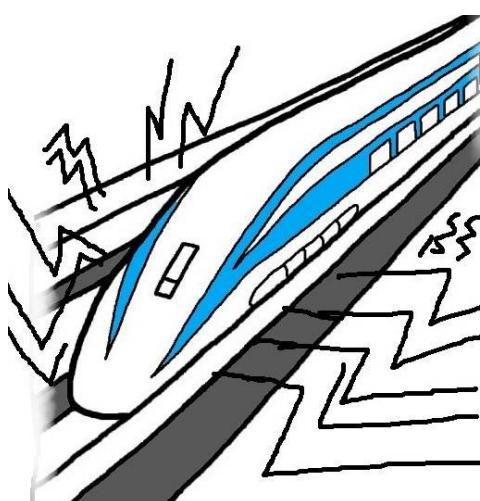


### リニアに試乗して感じたこと

中央市 藤田英明

2018年3月14日、私たちの乗ったバスが都留市田野倉のリニア実験線の駅前に到着し、バスから降りて駅の入り口に近づくと十数人の若い社員が出迎えてくれました。それは、さながら10時開店のデパートの光景によく似ていました。私たちが南甲府駅構内にあるJR東海の山梨工事事務所を訪れたときとはまったく正反対の対応で大変おどろきました。

やや広い部屋に通され、着席するとまもなく部屋は真っ暗になり、リニア開発の自画自賛のビデオが正面のスクリーンに映し出されました。それが終了すると案内の社員に導かれてリニアに乗りました。このとき、はじめて「列車は4両編成だ」ということが分かりました。「もし16両編成になつたらいいたい何人社員が必要になるのだろう」と考えていました。私たちは騒音計を持って乗り込みました。



まもなく発車し、車輪走行時の騒音の最高値は85デシベルとなり、騒音、振動は大変ひどく、ゴムの焼けるような臭いもしてきました。前面にあるテレビ画面に示された走行速度が514 km/hに達した時、85デシベルになりました。

16両編成になつたら列車の外は相当ひどい騒音が出るのだろうということは、容易に想像されました。車両から降りる際に、「車両およびガイドウェイの点検はどれくらいの頻度で行うのか」と質問しましたが、乗車した社員にはまったく答えられませんでした。

乗車時間は約20分でしたが、私の体調のためか気圧の変化のためか、ちょっと気分が悪く、しばらく駅の外のベンチに腰かけていました。私は敵情視察のつもりでリニアに乗つたので、乗車後に何の感情も感慨もありませんでした。

自然破壊、環境破壊、人間破壊等問題だらけのリニアは必要ありません。

自然破壊、環境破壊、人間破壊等問題だらけのリニアは必要ありません。

(注) 85デシベルとは? JR東海はリニア沿線の居住地域の騒音を最高値70デシベルに設定しています。これでもひどくうるさいのですが、85デシベルとはおどろきです。ちなみに80デシベルとは救急車のサイレン(直近)やパチンコ店内の騒音・90デシベルとは、カラオケ音(店内中央)あるいは犬の吠える声(直近)とされています。

# リニアは未完成で、もともと人体に危ないので

甲府市議会議員 山田厚

作業環境測定士・衛生工学衛生管理者



もともとリニア列車自体にも強い懸念をもっていましたが、それが試乗によって現実となりました。**列車の室内は狭く**、普通特急の横四列のシートが入るだけの幅でした。列車窓側の側面も飛行機か普通特急列車のイメージをもっていましたが、全然、違っていました。私は指で何か所も叩いての「打音検査」をしましたが、**頑強で分厚い構造**でした。窓は飛行機よりもかなり小さく、窓は外付けと内付けの2重ガラスでガラス自体もかなり分厚い材質です。つまり騒音や電磁波などの影響を防止するためにこんな構造になっていると考えられます。

**電磁波計**〔磁場〕を持ち込み、列車の床においていたところ、通路側の床と窓側の床では数値が一ヶタ違い〔10倍以上〕通路側が高い数値が出ました。最高の数値は、窓側の床面で**最高300ミリガウス**になりました。この電磁波計では自然環境では0.1ミリガウス程度ですから、リニア内は、最高3000倍にもなっていることになります。一般的には2~3ミリガウスでリスクがあるされていますから極めて問題です。

- 参考までに  
・スマホの着信時は9ミリガウス
- ・古い電子レンジでは10センチ離して 350~300ミリガウス
- ・比較的新しい電子レンジは10センチ離して80ミリガウス
- ・コピー機のプリント中は3ミリガウス



つまり電子レンジに頭を寄せていると同じ状態の窓側ともいえます。

車内の電磁波数値はかなり変化しました。

500キロ時では40ミリガウス、タイヤ走行時は74~150以上のミリガウス。やはり電力をかけるときに数値が上がっています。

**快適な車内では全くない**し体も休まりません。実験線でもほとんどトンネル・ドームですから暗い内部の照明がパッパッパとまぶしく不快です。開口部でも小さな窓からの景色などみることなどもできません。圧迫感もありました。

500キロを超えても そのことはモニターのデジタルの表示だけで、スピード感などもわかりません。



発車時と停車時のタイヤ走行時にはかなりの**騒音**〔同乗者によると最高で85デシベルのこと〕や**振動**も感じられました。気圧の変化は速度を上げたときに感じられました。窓際では頭をつけて寝ることなどできません。また危ない！

気のせいか？乗車後に花粉症が急に激しくなりました。一時的に体調を変化させ免疫力を低下させるのでは？・・列車内にはトイレもなく、人間にとっては未完成品です。